

審 議 会 等 の 会 議 結 果 報 告 書			
		課所名	生涯学習課文化センター
会 議 名	令和6年度 第1回諏訪市文化センター運営検討委員会		
開催日時	令和6年7月29日(月) 17時30分 ～ 19時00分		
開催場所	諏訪市公民館2階 講義室		
出席者	【出席者】高見 俊樹委員長、石城 正志副委員長、二村 悟委員、中島 昌之委員、宮嶋 孝枝委員、木村 修子委員、河西 風花委員、三澤 凜委員、高津 璃子委員、牛越 雅紀委員、金子 雄二委員、石田 名保子委員、山田 佳子委員、宮坂 寿子委員 三輪教育長、細野教育次長、五味課長、小林課長、中島係長、関沢係長、守屋館長、福田主査、今井みどり教育委員(オブザーバー) 【欠席者】 小山 美奈委員 【傍聴者】 一般 3名、新聞記者 5社		
資 料	資料①: 第1回諏訪市文化センター運営検討委員会 次第 資料②: 第1回諏訪市文化センター運営検討委員会 説明資料 別紙①: 諏訪市文化センター運営検討委員会 委員名簿 別紙②: 改修後の平面図(1階、2階) 参考資料①: 諏訪市文化センター運営検討委員会設置要綱 参考資料②: 諏訪市文化センター規則 参考資料③: 諏訪市文化センター条例		
協議議題(内容)及び会議結果(要旨)			
1、開会			
2、委嘱状交付			
3、教育長あいさつ			
4、自己紹介			
5、委員長および副委員長の選出			
委員長:高見 俊樹委員、副委員長:石城 正志委員			
6、会議事項			
(1)諏訪市文化センター運営検討委員会の進め方について			
＜事務局より資料に基づき報告＞			
(2)諏訪市文化センター大規模改修にかかる取組状況について			
＜事務局より資料に基づき報告＞			
＜質疑応答＞			
○委員			
・外構工事について、ホワイエとの関係も含めて現在の計画はあるか。			
(事務局)			
・本体の工事とは別に、駅周辺のにぎわい創出のために文化センターの外構の工事も考えていかなければいけない。具体的な計画については現在、検討中である。			

○委員

- ・改修内容の説明があったが、本委員会の中でどの程度変更が可能なのか。

○委員長

- ・本委員会の目的や要綱には「管理運営を検討する」、「関係者から意見を聴取する」とある。ハード面については既に基本設計が完了しているということと、多くの委員会であるような諮問に対する答申をする会ではなく、あくまで意見を聴取する会であると認識しているが、そこも含めてお答えいただければと思う。

(事務局)

- ・基本的には、先ほど説明をさせていただいたとおり、リニューアル後の管理運営をメインに皆様にご協議いただきたいと考えているが、現在実施設計が平行して動いているため、委員の皆様からハード面に関するご意見あった場合には、実施設計の中に盛り込めるかどうかも含めて、市で検討させていただきたい。
- ・ご意見をいただくということについては受けとめたいというスタンスである。

○副委員長

- ・エレベーターは、集会室側に行くエレベーターであって、ホールの2階には行けないのか。

(事務局)

- ・集会室棟2階の廊下を通ればホールのほうに周遊できる。
- ・ホール2階の客席は段差があるため、車椅子の方や足が不自由な方などは利用が難しい。そのため、改修後は1階に車椅子席を設置して対応していきたいと考えている。

○委員

- ・ホール2階に行く方は車椅子の人ばかりだけでなく、お年寄りの方もいる。この図面だと大きく回っていかないといけない。例えば2階の第3集会室の中か表に廊下が付けば簡単にホールにたどり着けると思う。
- ・1階のリハーサル室前の廊下が狭く、吹奏楽の人たちが楽器持って通れないのではないかな。そういうことも考えていかなければいけないと思うが、こういう変更が可能かどうかを伺いたい。

(事務局)

- ・現在のエレベーターの位置については、さまざまな場所を検討した結果、この位置が妥当との判断で計画している。
- ・ホール2階へは少し距離を歩いていただかなければならないが、集会室の前に廊下を新設し、ホールへ繋がるように周遊性を確保しているという計画であることをご理解いただきたい。
- ・1階リハーサル室前の廊下については、多少暗いという話もあるが、特に狭いという意見はいただいていないので、現状のままで進める計画である。ご意見として参考にさせていただきたい。

○委員長

- ・文化センターの現状を現地で確認したいという気持ちがあるが、その機会をご用意いただけるのか。

(事務局)

- ・全員で一斉にご覧いただくか、個別に空いている時間にご案内させていただくか、いくつか考えられるが次回の委員会までにその機会を用意させていただく。

○委員長

- ・できれば皆様と一緒に見させていただくのが良いと思う。

(3)意見交換

○委員

- ・活用の方角として、皆様に愛されるような場を作っていくことはすごく良いことだと思う。それをどう作っていくかという方法が大切になってくると思うので、その議論が今後進めば良いと思っている。
- ・若い方が参加されているので、建築そのものが持っている意義を超えて、こういうふうに使えたらいいのではという意見をどんどん言っていたら良いと思う。

○委員

- ・私たちは全国のホールをたくさん見学させていただき、研修もさせていただいている。その中で反響板のないホールは今まで見

たことがない。反響板が一つもないなんてことはありえないと思う。

- ・文化ホールはホールだけの問題ではなく、人がどうやって裏側で動くのかを考えてもっと細かく研究していかなければいけないと思う。

○委員

- ・開放されたホールということで、演者側とお客様側を分離する部分もなければいけないと思うし、みんなが交流できる施設にもしなければいけないということもあると思うので、それが難しいと感じた。

○委員

- ・リニューアル後のにぎわいのイメージ図を見るととても素敵だと思うが、やはりホールと集会室で同時に使った時にいろいろ厳しいと思うところもある。ただこういう会館が賑わうことは嬉しいことなので、できるだけそういう目的に近づけるような意見が出せればと思う。

○委員

- ・このホールを賑わいの場、憩いの場としていくことには賛成。ぜひ人が集まるホールになればいいなと思う。
- ・改修してすぐに賑わいが無くなってしまうことのないように、賑わいが継続的に起こるような運営方法も考えていきたい。

○委員

- ・文化センターをあまり使ったことがなかったが、今日の会議で深く知ることができて、もう会議が終わってしまうのかと思うくらい、すごいワクワクした気持ちで話を聞くことができた。
- ・自分がステージに上る側としての考えになってしまうが、すぐすぐできる設計だし、より活かしていけるところもたくさんあると感じたので、さらにより良い文化センターにしていくために、これからの会議でもたくさん意見を出せるようにしていきたい。

○委員

- ・この会場の設備を見て思ったのは、トイレが洋式化してくれたら嬉しいということと、エレベーターがつくことによって、お年寄りや車椅子の人など、いろんな人がより良く使えると思った。

○委員

- ・研究会や講演会、いろいろな集会等が特に小中学校で行われている。音楽鑑賞教室や演劇鑑賞教室などは体育館の中で行っているが、今年は暑くて大変だった。そういったことも、この収容数があるので多くの小中学生が同時に実施できと思う。
- ・また、学校行事で音楽会などもここで実施できたりするのではと思う。子供たちが自分たちの成果を発表できるような機会が増えると夢が広がると感じた。

○委員

- ・当初教育長から、愛される文化センターというキーワードがあり、今後、運営管理という面でご意見をいただきたいという中で、資料の最終ページにある賑わいのイメージ図にあるように、施設をオープン化することには大賛成である。
- ・次回のワークショップについて、その方向性など事前に教えていただければ幸いである。

○委員

- ・管理運営について、検討することが非常に多岐にわたるということを認識するという会議であった。
- ・例えばソフトのことを考えていく、運営について考えていくということも非常に大事だと思っている。令和9年にリニューアルするのであれば、令和7年にはそういうことも考えていかなければならないと思う。
- ・ビジョンにあるとおり、広々として誰でも開放して賑わいがあることは嬉しいと思う一方、こんなに周遊性の高い施設で、ずっと全館冷房をつけ放しであれば運営費が大丈夫なのかと心配している。ホールの構造上、締め切る場所とタイミングを考えて省エネを図るようなことも必要である。
- ・ソフトとハードの両面から考えなければならぬと実感した。頑張りたい。

○委員

- ・ホワイエの活用について、今のガランとしている状況が、人が集まって休憩できるようなスペースになったらいいと思う。
- ・芝生の部分について、アスレチックみたいな子ども向けのものができたらいいと思う。
- ・今後、本当に何をやっていくか、どうやって集約していくかということも、たくさん意見を出して詰めていきたい。

○委員

- ・エレベーターでお客様が上がってきたときに、楽屋の前を通ったときに出演者がどう感じるかなど、実際の現場を見ながら確かめていければと思う。

○副委員長

- ・今後ほぼ2ヶ月に1回のペースで会議をしていくが、そこでは議論し尽くせないことがたくさんあるかと思う。委員の皆様が疑問を感じたときに、問い合わせができる窓口を決めていただければ、疑問を解消した上で会議に臨めるのではないか。

○委員長

- ・委員の皆様から、非常に大切で奥が深い提言があったので、どうか事務局としても受けとめて今後の運営に生かしていただきたい。
- ・貸館だけでなく違う形で賑わい創出までもしていくためには、それを運営していく組織や方法について意見が必要かと思う。自主事業的なことをやっていくには、とても時間と手間とお金と人がかかる。その辺は事務局としても覚悟を持っているとは思いますが、そういうことも含めて、どう工夫するのが重要になってくると考えている。
- ・登録有形文化財として価値がある建物であると私も委員も市民も感じているので、その良さを感じられるような方法も模索していきたい。

7、その他

(事務局)

- ・先ほど見学会という話があったが、第2回の委員会の前に見学会を入れるスケジュールを組むことについていかがか、委員の皆様にご確認をいただきたい。また、会議時間について、もう少し早いほうがいい、遅いほうがいいなどご希望があれば教えていただきたい。

○委員長

- ・教育委員会からの提案について、特に問題ないか。

○委員

- ・問題ない。

(事務局)

- ・また、ご質問・ご意見等について、事務局から皆様にもメール等で意見用紙を送付させていただく。今日の会議を終えてのご意見等、次回までにいただければと考えているのでよろしくお願いいたします。
- ・次回の運営検討委員会は、8月下旬を予定している。
- ・日程と内容については、事務局で調整をさせていただいた上で、別途通知させていただく。
- ・会議資料についても、事前に送付させていただくので、ご覧いただいた上で次回の委員会に出席いただければと思う。
- ・直接会場に来られない場合は、オンラインでの参加も可能としたいので、その際は事務局へお知らせいただきたい。

8、閉会